

第1 基本計画の概要

※第1 基本計画の概要に関する意見はありませんでした。

第2 計画推進のために

No.	項目等	意見等の概要（個人情報保護等のため必要に応じて要旨をまとめています。）	市の考え方
1	P3～P5 計画推進のために(2)本市の将来人口推計、(3)人口減少抑止に向けた諸施策の推進	かつて20万都市を目指した桶川市の第六次基本計画の構想では6万人台と1/3以下と想定した記述になっているが、過去第5次までの計画が間違っていたのか、桶川市に居住することの魅力を見出せない結果、子育て世代の流入が見いだせないし、居住を希望しない人が増える理由は何なのか、決して自然減だけではない理由の分析がされていないことと、結果として対応策の無いことに通じる。	<p>本計画では、自然動態や社会動態の要因を加味するコーホート要因法により人口推計を行っています。過去の推計については、第三次総合振興計画では120,000人、第四次総合振興計画では80,000人、第五次総合計画では77,000人を将来目標人口としており、少子高齢化の進展など近年の人口動態を踏まえ、将来目標人口は徐々に引き下げております。</p> <p>「桶川市第六次総合計画前期基本計画（5か年）パブリック・コメント参考資料～計画策定の背景～」のP6に人口動態の推移を掲載しておりますが、本市では死亡数が出生数を上回る自然減の状態が続いている一方、転入者数が転出者数を上回る社会増の状態が続いています。</p> <p>また、自然減と社会増を差し引くと自然減が上回る傾向にあり、近年、緩やかな人口減少局面を迎えています。</p> <p>このような状況を踏まえ、本計画に掲げる5つの政策を総合的に推進することにより、若者や子育て世帯が魅力を感じる生活環境の充実や移住定住の促進など、人口減少の抑止に向けたまちづくりを総合的に展開してまいりますので、御理解を賜りたく存じます。</p>

第3 分野別の施策

政策（教育・文化に関する分野） 生きる力と豊かな心を育む桶川

※政策（教育・文化に関する分野）に関する意見はありませんでした。

第3 分野別の施策

政策（健康・福祉に関する分野） 共に支え合いいきいきと暮らせる桶川

※政策（健康・福祉に関する分野）に関する意見はありませんでした。

桶川市第六次総合計画前期5か年基本計画に関する意見等の募集結果

第3 分野別の施策

政策（安心安全・都市基盤に関する分野） 安心して暮らし続けられる桶川

No.	項目等	意見等の概要（個人情報保護等のため必要に応じて要旨をまとめています。）	市の考え方
2	P57 施策 308 生活に身近な拠点の形成 3081 魅力ある中心市街地の形成	<ul style="list-style-type: none"> 都市拠点となる桶川駅の周辺では、周辺環境との調和を図りながら商業・業務・サービス施設の立地誘導のほか、文化芸術・生涯学習・交流など多様な機能の集積により、にぎわいと活気のある中心市街地の形成を図ります。 ターミナル機能の向上を図るため、東口駅前広場や駅東口通り線の整備を推進するとともに、ことぶき広場（旧桶川南小学校跡地）では、社会環境や市民のニーズなどに即した利活用を図ります。 西口駅前広場は、適切な維持管理を行うとともに交通事情に応じた改善を図ります。・・・と、記述されている。 <p>さて、第五次の3) 都市拠点 では現在進んでいる東口駅前広場・東口駅通り整備には言及されているものの、以前から、桶川市商工会として、あるいは桶川市商店会連合会として、また中山道商店会として上記整備の際には「桶川南小学校跡地（ことぶき広場）」の用地を含んだ開発計画を設計し、これにあわせた整備を実施することを提言し続けているが、これらについてもひとつとして具現化されておらず、直近では中山道沿線の「街路灯」問題でも桶川市が意見を交換する会議の開催を行うと約束されていることすら守られないまま、拡幅区域に現存する街路灯撤去が実施されているのが現状である。</p>	<p>現在、ターミナル機能の向上を図るため、幹線道路となる東口駅前広場や駅東口通り線など、インフラの整備を進めております。ことぶき広場（旧桶川南小学校跡地）における開発計画につきましては、市民の皆様の御意見等をいただきながら、この度のコロナ禍による社会環境の変化なども踏まえ、利活用の方向性を整理、検討してまいりたいと考えておりますので、御理解を賜りたく存じます。</p> <p>御指摘の街路灯の問題につきましては、東口駅前広場、駅東口通り線及び仲仙道線の整備の進捗にあわせ協議・調整をいたたく存じますので、重ねて、御理解を賜りたく存じます。</p>

第3 分野別の施策

政策（環境・みどりに関する分野） 環境にやさしくみどりと調和した桶川

No.	項目等	意見等の概要（個人情報保護等のため必要に応じて要旨をまとめています。）	市の考え方
3	P50-51 施策 305 良好な都市環境の形成	<p>第6次総合振興計画への継続願い（殿山公園化計画の件）</p> <p>第5次計画の中で平成25年3月、都市計画決定された殿山公園は土地区画整理事業に組み込まれ整備すると来ましたが進捗は見えません。近年、当地には圏央道が隣接開通され、本件は身近な重大案件です。</p> <p>是非とも、第6次総合振興計画に継続案件として盛り込まれるようお願い致します。又、上日出谷丸山公園についても同様の取扱をお願い致します。</p>	<p>本計画では、「施策305 良好な都市環境の形成」において、公園等の整備を計画的に進めることとしております。</p> <p>御指摘の殿山公園（0.62ha）及び上日出谷丸山公園（0.17ha）につきましては、いずれも平成25年3月26日に都市計画法に基づく都市計画決定を行っており、計画的に整備する施設となっておりますので、御理解を賜りたく存じます。</p> <p>なお、本計画は、個別事業における取組の方向性について、教育・文化、健康・福祉、安心安全・都市基盤など施策分野毎に体系的に位置付けることとしております。このため、公園の新設や改修など、個別事業の整備順位につきましては、市内の公園整備を検討する中で整理してまいりますので、御理解を賜りたく存じます。</p>

桶川市第六次総合計画前期5か年基本計画に関する意見等の募集結果

第3 分野別の施策

政策（産業・経済に関する分野） にぎわいと活力ある桶川

No.	項目等	意見等の概要（個人情報保護等のため必要に応じて要旨をまとめています。）	市の考え方
4	P76-77 施策 503 商業の振興 計画策定の背景 P8	<p>(4) 産業④第3次を「卸・小売」と大きくくりしてあるが、このうち小売のなかでも特に零細はあきらかに減少傾向にあり決して増加に転じていない。経営者の高齢化と生活できないことが明らかになっている後継者が経営を継承しないことにある。</p> <p>これは消費者側からみたときに魅力のあるまちづくりが形成されていない結果であり、過去何十年にもわたりまちづくりに真摯に対応してこなかった桶川市や、市議会において対策案すら提案してこなかった桶川市議会にも一部責任があり、これに関しての反省はおろか、対策すら記述されていないのは非常に情けないと思う。</p> <p>現在の中山道沿線の上尾市・北本市等であっても、桶川市のように空店舗や、店舗を取り壊して空地化が目立つような「まちなみ」が形成されていないことは現実が物語っている。</p>	<p>本計画では、「施策 308 生活に身近な拠点の形成」及び「施策 503 商業の振興」の中で、魅力ある中心市街地や生活利便機能の充実を図る地域生活拠点の形成を図ることとしています。また、商業地として、駅を中心に広がる中心市街地における商業・業務サービス機能の集積や、日出谷地区の地域生活拠点における商業環境の形成を図ることとしております。</p> <p>御指摘の消費者にとって魅力ある商業環境の形成などにつきましては、今後の事業を進める際の参考とさせていただきますので、御理解を賜りたく存じます。</p>
5	P79 施策 504 観光の振興	<p>また、第五次の 4) 観光まちづくり拠点 では中山道沿道の観光資源としてのまちづくりがうたわれていたが、これらも削除され、本気で取り組む気概があるのなら「桶川市歴史民俗資料館」の中山道への移転、ないしは分館を設置して「桶川市歴史民俗資料館」に設置してある桶川宿の宿場模型を飾るくらいの気概を含んだ提言を見たいものである。</p>	<p>本計画では、中山道沿道を観光まちづくり拠点として位置付けています。「504 観光の振興」の中で、地域に伝承されている芸能・文化などの地域資源の保存・活用や関連イベントの開催などを通じ、魅力ある観光まちづくりの推進を図ることとしています。また、「施策 305 良好な都市環境の形成」の中で、中山道宿場町のまち並みや住宅地の緑あふれる景観など、地域の意向を踏まえた良好な景観の保全と形成に取り組むこととしておりますので、御理解を賜りたく存じます。</p> <p>また、御指摘の歴史民俗資料館の移転や分館の設置につきましては、観光資源の活用や情報発信など、今後のまちづくりの参考とさせていただきますので、御理解を賜りたく存じます。</p> <p>一部、御意見を踏まえ、「5041 地域資源の活用」について「中山道沿道、べに花ふるさと館・・・推進を図ります」を「観光まちづくり拠点となる中山道沿道、べに花ふるさと館・・・推進を図ります」と改めます。</p>

桶川市第六次総合計画前期5か年基本計画に関する意見等の募集結果

その他意見

No.	項目等	意見等の概要（個人情報保護等のため必要に応じて要旨をまとめています。）	市の考え方
6	基本構想について	<p>第五次総合計画基本構想にある</p> <p>●中心市街地の都市拠点化 桶川駅周辺の中心市街地を本市の都市拠点と位置づけ、市の文化・交流機能の中心として充実します。この中心市街地では、拠点性を確保するため、桶川駅東口のターミナル機能を確立し、人・文化などのさまざまな交流や業務機能の充実を図ります。そこで、駅東口・西口の商業環境の向上と合わせて、中山道をいかしたまちづくりやまち並みの創出により、人が集まる魅力をもつ都市拠点としての活性化を推進します。</p> <p>が、第六次総合計画基本構想では</p> <p>駅東西を一体として拠点性を確保することとし、ターミナル機能の充実を図ります。このため、東口駅前広場や駅東口通り線の整備を推進し、商業、業務サービス、芸術文化、生涯学習、交流など都市拠点に相応しい機能の充実を図ります。</p> <p>また、ことぶき広場（旧桶川南小学校跡地）については、都市拠点として相乗効果を発揮できる利活用を図ります。と中山道を生かした開発案がなくなってしまったのは、なぜか？</p> <p>東口駅前広場や駅東口通り線は商業、業務サービス、芸術文化、生涯学習、交流など都市拠点に相応しい機能の充実を図っている開発の根拠は何か？道路拡幅のための商店立退きであってなんの計画もないのではないのか？</p> <p>もう少し具体的な計画を出してもらいたい。</p>	<p>本計画では、中山道沿道を観光まちづくり拠点として位置付けています。「504 観光の振興」の中で、地域に伝承されている芸能・文化などの地域資源の保存・活用や関連イベントの開催などを通じ、魅力ある観光まちづくりの推進を図ることとしています。また、「施策 305 良好な都市環境の形成」の中で、中山道宿場町のまち並みや住宅地の緑あふれる景観など、地域の意向を踏まえた良好な景観の保全と形成に取り組むとしておりますので、御理解を賜りたく存じます。</p> <p>さらに、基本構想の中で、駅周辺を都市拠点として位置づけ、駅東西を一体として拠点性を確保することとしており、「施策 308 生活に身近な拠点の形成」の中で、駅周辺を都市拠点として位置づけ、駅東西を一体として拠点性を確保することとしております。この中で、東口駅前広場や駅東口通り線の整備の他、駅東西における商業・業務サービス、芸能文化、生涯学習などの機能の充実を図ることとしておりますので御理解を賜りたく存じます。</p> <p>現在、幹線道路として東口駅前広場や駅東口通り線などインフラの整備を進めております。ことぶき広場（旧桶川南小学校跡地）における開発計画につきましては、市民の皆様の御意見等をいただきながら、この度のコロナ禍による社会環境の変化なども踏まえ、利活用の方向性を整理、検討してまいりたいと考えておりますので、御理解を賜りたく存じます。</p>
7	基本構想について	<p>平成28（2016）年の桶川市第五次総合計画基本の P24 の 2.土地利用の①土地利用の基本方針「歩いて暮らせるまちづくり」では、</p> <p>『前略～ 桶川駅周辺の中心市街地では、駅東口周辺地域や中山道を整備し、人が集い快適に過ごせる魅力ある拠点として活性化していきます ～後略』との記述があった。</p> <p>又、P29 の【拠点の形成】⑥都市拠点に</p> <p>「桶川駅周辺の中心市街地では、本市の都市拠点と位置づけ、駅東口、西口を一体的な中心市街地の形成を図り、拠点性を確保していきます。駅東口は、都市機能の充実を図るため、駅前広場及び駅東口通り線の整備を促進し、あわせて文化・交流・業務機能を充実させます。また、旧桶川南小学校跡地については、都市拠点にふさわしい利活用を図ります。さらに、中山道沿道は、歴史、文化をいかしたまち並みの保全・創出を図り、旧郵便局跡地や中山道宿場館などを観光資源としてまちづくりを進め、活性化を図ります。」とも記述されていた。</p> <p>ところが一転、今回令和5（2023）年の第六次総合計画基本構想の案の中の「歩いて暮らせるまちづくり」では、『前略～「既成市街地の桶川駅周辺には都市拠点～後略』と記述され、従来記述されていた「中山道の景観」「中山道」という文言すら完全に消去された。中山道商店会は、中山道沿線の整備はいよいよ基本計画からも抹消されたと理解せざるをえなくなったと理解している。</p> <p>これを否とするならば、少なくとも「中山道沿線の整備と宿場町の景観の保存」という文言を復活して欲しい。</p>	<p>本計画では、中山道沿道を観光まちづくり拠点として位置付けています。「504 観光の振興」の中で、地域に伝承されている芸能・文化などの地域資源の保存・活用や関連イベントの開催などを通じ、魅力ある観光まちづくりの推進を図ることとしています。また、「施策 305 良好な都市環境の形成」の中で、中山道宿場町のまち並みや住宅地の緑あふれる景観など、地域の意向を踏まえた良好な景観の保全と形成に取り組むこととしておりますので、御理解を賜りたく存じます。</p>

桶川市第六次総合計画前期5か年基本計画に関する意見等の募集結果

No.	項目等	意見等の概要（個人情報保護等のため必要に応じて要旨をまとめています。）	市の考え方
8	前期5か年基本計画について	<p>さて、以下の文面は桶川市ホームページからの抜粋である。</p> <p>「令和4年12月定例会において、桶川市第六次総合計画基本構想が議決されました。今後は、同構想に掲げる将来像「学び豊かな笑顔あふれる幸せ未来都市 おけがわ」の実現に向け、施策の方向性を体系的に定める前期基本計画（5ヶ年計画）の策定作業に取り組んで参ります。」</p> <p>上記だけを素直に読むと、非常に心強い提言のように思える。</p> <p>桶川市における「総合計画前期基本計画」はこれからの桶川市の施策の中心にある「憲法」のようなものと理解しているからである。</p> <p>しかし、過去第一次から第五次までの計画のなかでどれだけのものが市民の皆さんに納得頂ける施策として実現されたかの反省が見えてこない。</p> <p>反省という基盤に則ってこれからの「計画」が建てられるべきではないかと考えれば、脆弱な基盤のもとに立てられた「計画」など、最初から単なる作文としかみえてこず、これならば「桶川市」という名の下でなくとも誰にでも作成できると思えてならない。</p> <p>中山道商店会では本来ならば「基本計画」全体をとらえての提言をしたいところであるが、過去に桶川市が「中心市街地」と定義してきたが現在ではその考えを削除したように思える「中心市街地」の空洞化がこれ以上は進まないための施策に絞って、又、これから「宿場の面影を残す・・・」まちなみ整備が進められることを期待して、弊会がとりまとめた「中山道まちなみ協定（条例）案」を提案して、第六次基本計画がより良い方策として機能されることを祈りたいと思う。</p>	<p>第六次総合計画では、「学び豊かな 笑顔あふれる 幸せ未来都市 おけがわ」を本市の将来像として掲げ、この実現に向け5つの政策と土地利用の計画的な推進を図ることとしております。また、本計画の諸施策に基づき策定する関連諸計画や実施する個別事業は、相互に整合を図りながら将来像の実現に向け、まちづくりを推進することとしています。</p> <p>御提案をいただきました「中山道まちなみ協定（条例）案」につきましては、中山道沿道における今後のまちづくりの参考とさせていただきますので、御理解を賜りたく存じます。</p>
9	その他	<p>2012年代の桶川ブログ（http://rougtry.blog117.fc2.com/blog-entry-295.html）に桶川駅東口に関する桶川市の姿勢に対していろいろ批判的なご意見が多数掲載されている。それから10年、東口駅前広場及び駅通りと駅入口交差点に関わる部分の中山道の拡幅工事が少しずつ進んでいます。しかしこれはまちなみ整備といったビジョンをもって構想された計画を基盤として実施されているものではなく、単に右折帯を作るという道路事情によるもので、ひとつとして構想が提示されたことがない。</p> <p>西口開発の際も、日本住宅公団（当時）による三井精機工業株式会社の用地買収による開発によるものであって、桶川市が主導したものではなかったことは、結果として都市の中核となる部分の構想を策定することもなく、整備経験がないままに西口開発が実施されたことは桶川市の最も不幸な点であると理解している。</p>	<p>第六次総合計画は本市の行政運営の指針となるものであり、このうち基本構想は、今後10年間の本市の将来像やその実現に向けたまちづくりの方向性として、「教育・文化」、「健康・福祉」、「安心安全・都市基盤」、「環境・みどり」、「産業・経済」の5つの政策と土地利用の考え方などを示しています。</p> <p>また、前期5か年基本計画については、5つの政策と土地利用の計画的な推進に必要な諸施策を体系的に定め、基本構想に掲げる将来像を実現することを目的としております。</p> <p>本計画では、御指摘の駅周辺につきましては、「施策308 生活に身近な拠点の形成」の中で、周辺環境との調和を図りながら商業・業務サービス施設の立地誘導を行うほか、文化芸術・生涯学習・交流など多様な機能の集積により、にぎわいと活気のある中心市街地の形成を図ることとしておりますので、御理解を賜りたく存じます。</p>